

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター ころころ遊園			
○保護者評価実施期間	2025年10月20日 ~ 2025年11月21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	2025年11月17日 ~ 2025年11月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月19日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員数の充実により手厚い個別支援を行うことが出来る	<ul style="list-style-type: none"> ・本人やご家族のニーズを確認しながら、本人が今必要な支援を行っている ・本人の特性や生活環境、利用時の様子など職員間で情報共有を行い、丁寧な個別対応を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者がマンツーマンでつかない利用者に対しても、時間を設定して個別活動を行っていく ・支援者間での共有を更に向上させる
2	1階、2階の広いスペースを使い、支援が出来ている	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりの活動内容に合わせて適切な活動場所を提供している 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全を担保しつつ、外出支援先（公園、同一法人施設等）を充実させていく ・メリハリのあるカリキュラムを開拓していく
3	こどもたちにとって楽しい場所、安心できる場所になっている	<ul style="list-style-type: none"> ・あそびの中で本人の様々な成長を促していくという基本的な考え方 ・こどもと支援者が一緒になって楽しめる空間づくり ・本人の気持ちをしっかりと受け止める姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の希望を受け止めつつも、今本人に必要なスキルを獲得するためのチャレンジも促していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別対応や送迎車の台数、放課後等デイサービス事業との兼ね合い等の理由で、受け入れ人数が限られてしまう	<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動を全員同時に実施している為、職員数以上の受け入れが難しい ・送迎車の保有台数に限りがある ・長期休み期間中は放課後等デイサービス利用の児童が朝から利用している 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムや1日の流れ等を再度検討し、どのようなプログラムやスケジュールであれば追加の受け入れが可能か、法人全体で検討していく ・送迎時間をずらす等の調整することで受け入れ可能か、検討していく
2	活動プログラムのマンネリ化が見られる	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムについて学んだり、検討する時間があまりない 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加したり、他の事業所等との情報共有を行なながら、当事業所で提供可能な活動プログラムを検討していく ・定期的に活動プログラムについて話し合う時間を作る
3	保護者会を開催しておらず、保護者同士が交流できる場が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・共働き等ライフスタイルの変化や、利用回数の違い等もあり、保護者会を負担に感じるのではないかという懸念がある。 ・一日を通じ支援を行っている為、職員が保護者会の企画や対応をすることは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在行っているペアレントメンターによるサポートファイアル書き方講座＆茶話会や、早期発達支援セミナー等での保護者同士の交流を充実させつつ、保護者会に対しての保護者のニーズを確認していく。 ・以前開催したことのある『親子行事』の開催についても検討していく。